

before



after



リフォーム前

リフォーム後

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

<動機> 20年以上放置されていた小屋の再生。

設計士本人と妻が施工の全工程（設備工事以外）を行うことで、住まいと人間関係を改めて考える実験的な建物。

<工夫点> 築年数や構造の異なる3棟を自然につなげるため、既存の段差を生かした間取りを考えた。周囲より1m程度低くなっている土地を生かすため、窓の位置に配慮し、半地下のような守られた空間を作り出した。

<感想> 設計、施工、施主 全ての立場を経験することで、今後、施主と住まいがより深く関わることの重要性を感じた。家づくりに関わることで、建物への愛着がわき、大切に手入れをしながら住み続ける楽しさを知ることができると考える。

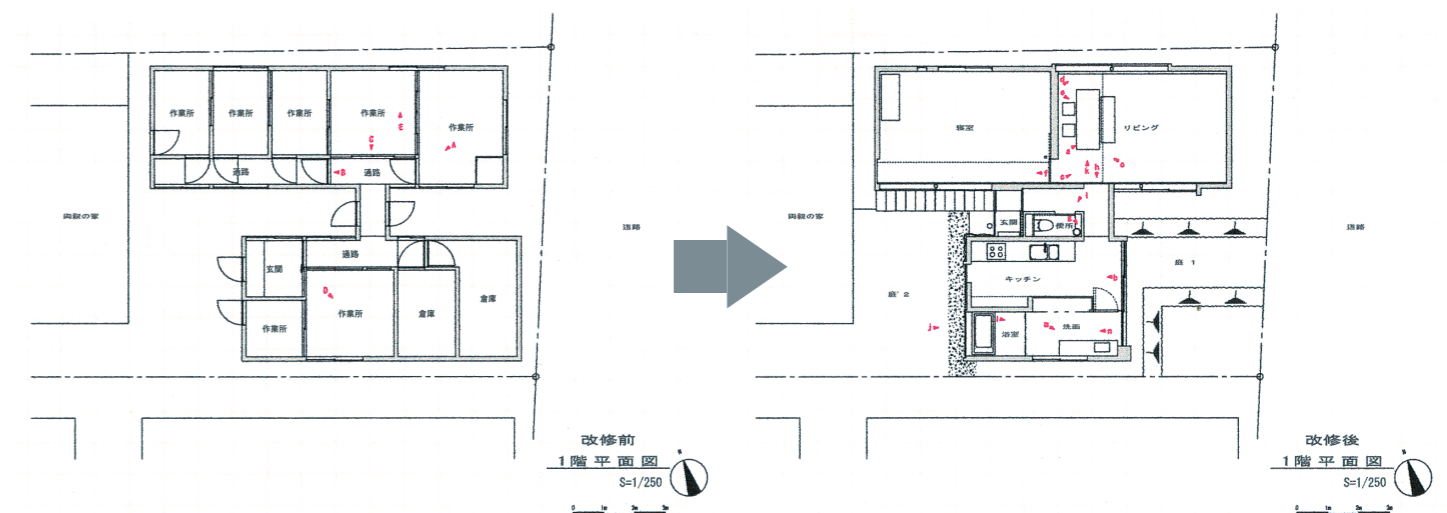
建物は完成し住み始めてからが始まりであり、維持管理、メンテナンスを重ね長い年月とともに成長していく事が重要と考える。

性能向上の特性
温熱性能

特に配慮した事項
屋根、外壁に断熱に優れた塗料を使用する事で、冷暖房の使用をおさえ、より快適な空間とした。

データ

所在地	和歌山県和歌山市	築後年数	40年	施工期間	365 日間
該当工事面積	67.9 m ² /総工事床面積 67.9 m ²	該当部分工事費	500 万円/総工事費 500 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人/65歳以上: 人/15歳未満: 人/ペット:				
設計会社	オオハタミツオ建築設計事務所	担当者	大畑 光央		
施工会社	同上	担当者	同上		



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共有部